

令和7年度 高雄教育全体構想

京都市立高雄小学校

学校教育目標

仲間とともに高め合い 未来に向かって
たくましく生きる子の育成

目指す子どもとつけたい資質

- た** たくましい子 【強くしなやかな心】【健康な体】
- か** かんがえる子 【自ら学ぶ力】【自ら律する力】
- お** おもいやりのある子 【人をおもいやる心】【命を大切にする心】

目指す教職員

多様な子どもが誰一人取り残されない教育を進める（よりそい）
子どもの命を守り切る（いのち）
社会に開かれた教育課程を実現できる（カリキュラム・マネジメント）

目指す学校

だいすき高雄

～みんなが愛し、みんなが誇りに思う学校～



高雄教育 取組の重点

「確かな学力」の育成

- 協力指導「チーム高雄」
 - ・教科担任制（複数学年に関わる専科指導）
 - ・低 中 高学年部での合同授業（道徳 総合 体育 音楽 国語 特活など）
 - ・担任を孤立させないための低 中 高学年部会のチーム運営
- 「仏の指プロジェクト」
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ・授業のユニバーサルデザイン化
 - ・「仏の指」のような指導（子ども自らが自らの力で力をつけたと実感できる授業）
- 「一期一会 心に残る授業」
 - ・「研究」をしない先生は、「先生」ではない
 - ・教材研究をして、自らも子どもにも最高の授業を
 - ・年度終わりにアンケート調査を実施
- 社会に開かれた教育課程の実現（カリキュラム・マネジメント）
 - ・教科・領域(特に道徳)と ESD(生活・総合)との効果的なつながりを探る。
 - ・指導と評価のPDCA サイクルを積み重ねる
 - ・地域人材・公共機関・校種間連携・企業・NPO・専門家等の発掘と有効活用

→新たな出会いや効果的なつながりをつくる
- ESD 学習発表会 社会に生かす場→実践力の育成→夢や希望のある将来展望
- 帯タイムのスキル学習と自主学習の工夫
- 言語活動（記録・要約・説明・論述・発表等）と話し合い活動の充実
- 明確なめあて・板書・振り返りの提示
- 学校図書館を生かした授業の工夫と読書指導

「豊かな心」の育成

- 道徳の授業を核とした道徳教育の推進
 - ・道徳教育の充実→自己肯定感を高める取組
 - ・しなやかな道徳教育の充実（考え、議論する道徳の授業）
 - ・「ともだちの日」学習の成果の発表や社会に向けた実践化や啓発にも活用
- 特別活動（学級会活動）を核とした学級経営の充実
 - ・協働活動を通して人権と社会のきまりを大切にする
 - ・協働活動による「たてわり活動」を通して自己有用感を育成する
 - ・話し合い活動→社会参画をはかる
- いじめアンケートの活用と丁寧な聞き取りと事後指導
- 支援を必要とする児童への支援教育（心のバリアフリーの推進）
- クラスマネージメントシートの活用→すべての子どもの「心の居場所づくり」へ

「健やかな体」の育成

- 自他の命を大切にする指導
- 防災教育 自らの命を守り抜くために「主体的に行動する態度」を育成
- 休み時間や登下校の見守り
- 基本的生活習慣の確立 生活調べ等を活用して課題がある家庭を指導
- 家庭との連携の充実 家庭訪問や普段の児童からの情報の中で共育関係を築く。
- 体力の向上 体育学習や運動部活動のより一層の充実をはかる。
- 保健教育 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成
- 食育 学校給食を「生きた教材」として食に関する指導を推進
- 安全教育の充実 子どもが学校や地域で危険を予測し、適切に行動できる力を育成